

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 6 月 18 日現在

機関番号：32601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25244034

研究課題名(和文) 制度と政治社会の相互関係から見たヨーロッパ中世の発展と変容

研究課題名(英文) The development and transformation of medieval Europe in aspect of relations between institution and political society

研究代表者

渡辺 節夫 (WATANABE, Setsuo)

青山学院大学・文学部・名誉教授

研究者番号：70036060

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 24,100,000円

研究成果の概要(和文)：「追加採択」のため、実質的なスタートが初年度半年ほど遅れたが、近年の日本の主要著作の合評会の開催(5回)、2000年以降の欧米における当該分野の研究動向の整理と検討(4回)、各自のテーマに合わせ、近年の動向を踏まえた主要論点の提示(4回)を行い、論集「2017年度刊行予定」の基礎を作ることができた。また、2度にわたり当該分野の優れた研究者を招聘し、講演会を開催し、欧米における最新を動向・論点を明らかにすることができた。

研究成果の概要(英文)：As admitted “additionally” in the autumn of 2013, we lost half an year time to spend for this project. However, we could have 13 meetings with reports made by scholars in and out of this project, respectively: 5 meetings for review reports of the recent studies of Japanese scholars; 4 meetings for reports of recent tendencies of historical studies in the West; 4 meetings for principal points of studies of the individual members of this project, especially in the context of recent Western tendencies. We also could have 2 more open lectures by excellent academics from without, with fruitful results through very active discussions. Thus, we believe that we made sure progress in many points for the theme, and achieve mutual understandings of individual studies of members. These should work as the basement for our new book expected to be published in 2017.

研究分野：フランス中世権力構造論

キーワード：ヨーロッパ中世史 政治文化論 権力構造論 イデオロギー

### 1. 研究開始当初の背景

本プロジェクト研究は長年にわたる「ヨーロッパ中世史研究会」(1995年結成)の活動の成果を踏襲するもので、基本的にはヨーロッパ中世の政治・権力構造を王権、教会、貴族の三者の相互関係から明らかにしようとするものである。過去4度にわたる科研費による共同研究「中世ヨーロッパにおける権力構造の比較的研究」、「教会から見た中世ヨーロッパの政治社会」、「中世の権力構造とアイデンティティ複合」、「ヨーロッパ中世における社会秩序と貴族の位相に関する比較史的研究」において一定の成果を挙げることができた。今回のプロジェクトでは若手研究者を加え、斬新な視点から共同研究を推進することとなった。

### 2. 研究の目的

ヨーロッパ史全体としてみた場合①貴族層による公権力の分有、権力の分散化の度合い、王権による集権化の度合いとそのプロセスとメカニズム、教会がその俗権を通して、或はイデオロギーの面で果たした役割は如何なるものであったか、が主たる研究の目的であった。特にメンバーの構成を生かして地域間の差異を明らかにすることが課題となる。とりわけ、公的な秩序に関しても国家の統治機構が比較的、早期的に高度に発達した地域と地域レベルの貴族層、都市による秩序維持機能が遅くまで残存した地域との差異とその要因を明らかにすることが特に求められる。具体的には①自立性が強い各勢力に対して、王権は如何にしてその権力を行使しえたか、公的秩序の維持において貴族層は如何なる役割を果たしたか、現実の政治的な階層間の力関係が制度の形成に如何なる影響を与えたか、などが問題となる。

### 3. 研究の方法

以上の課題を実現するために、先ず①共通課題に基づいて研究グループに分かれ、各自の個別的・具体的なテーマを画定する、社会

構造、政治構造、法構造の理論的分析に係る近年の主要な著作をヨーロッパ中世に関して広く収集するとともに、中世政治史、法制史に係る史料を現地での調査・研究に基づいて精力的に収集する、定期的(隔月)に研究集会を開催し、メンバー以外の研究者も含め、個々の主要テーマごとに意見交換を行い、主要な問題点を更に明らかにする、外国人研究者を招聘し、各国における研究動向と成果を吸収して、プロジェクト研究の課題、方法論をより明確にする、以上を踏まえて最終的に「国際シンポジウム」を開催する。

⑥以上の成果を基礎にして、本プロジェクト研究を総括するものとして、終了後の早い時期に『研究論集』を刊行する。

### 4. 研究成果

(1) 日本における近年のヨーロッパ中世の政治権力構造の成果・発展と問題点を明らかにし

た。2013年度には研究例会において最近刊行された主要な著作5点『百年戦争期フランス国制史研究』、『ドイツ史の始まり』、『中世後期セルビアとボスニアにおける君主と社会』、『中世ブリテン諸島史研究』、『中世イタリアの地域と国家』を取り上げ、著者自身を招き、メンバーが評者となって批判的検討、活発な質疑・応答を通して、東欧も含むヨーロッパ各地域の権力構造に関する課題を広く鮮明にすることができた。

(2) 2014年度には、メンバー2名ずつで対象とするヨーロッパの地域(学界)ごとに2000年以降の研究動向を掌握し、例会(4回)で報告し、メンバー以外の研究者からも協力を得て、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアに関して、その特筆すべき点を本プロジェクト研究で明らかにした。これにより、本プロジェクトにおいては政治文化、法文化の近年の動向を踏まえて共同研究を遂行することが確認された。

(3) 2015年度には、メンバー2名ずつで

各自のテーマに合わせて、大きく〔教会〕〔王国・国家〕〔都市〕各分野の近年における欧米の主要著作の批判的検討と主要課題に関する報告を行った。これにより当該分野の学界動向、近年の主要著作、とその特筆すべき点が明らかとなった。

(4)2014年度にはマルク・ボーン教授(ヘント大学)を本科研プロジェクトとして招聘して各地で講演会を行った。本プロジェクト主催の講演は「高度に都市化された環境のなかの君主国家」と題するもので都市と王権の関係を論じた斬新な研究報告であった。一連の報告は報告集『中世ヨーロッパの都市と国家』(河原温編、山川出版社、2016年)として刊行した。また、2015年度にはパトリック・コルベ教授(ロレーヌ大学)を招き本プロジェクトの主催・共催により各地で講演会を開催した。本プロジェクト主催の講演は「12・13世紀における女性と政治権力」と題する、新たな視角からの報告であった。最終年度にあたる2015年度末に「国際シンポジウム」を開催することは当初からの予定であり、十分な予算を組み、準備を進めてきた。コルベ教授に加えてフランス、ドイツから研究者を各1名招聘することになっていたが、直前になり相手方の都合により来日が不可能となり、「国際シンポジウム」は開催できなかったが、コルベ教授の単独での各地での講演会は盛況であり、内容的にもかなり欠を補うことができた。

以上の活動成果を基礎に各自、自身の対象分野において下記のように一定数の論文、著書を刊行することができ、また学会報告においても成果を公表することができた。更に2017年度にはこれらの成果を踏まえて『研究論文集』の公刊を行うこととし、現在その具体化に向けて調整を進めているところである。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 19 件)

①北野 かほる、中世後期イングランド刑事司法の構造、

法制史研究、査読有、65号、2016、1-51

鈴木 道也、中世の百科全書とフランス王権、

日仏歴史学会会報、査読無、30号、2016、44-47

薩摩 秀登、学芸で結ばれた人たち、東欧史研究、査読無、38巻、2016、60-66

渡辺 節夫、フランス中世王権の拡大過程と諸侯権力

青山史学、査読無、33号、2015、1-25

加藤 玄、中世後期の英仏関係とガスコーニュ

西洋史研究(新編)、査読有、43号、2014、209-215

加藤 玄、中世フランスにおける領域史研究の現在、

都市史研究、査読無、1号、2014、135-142

鈴木 道也、中世王国年代記写本のなかの世界図

東洋大学文学部紀要、査読無、39号、2014、1-30

皆川 卓、トレント公会議以降の神聖ローマ帝国におけるイエズス会

の政治思想、早稲田大学西洋史論叢、査読無、36号、2014、51-72

三佐川 亮宏、ヨーロッパ中世前期のエスニシティ、

歴史と地理、査読無、36号、2014、256-259

大月 康弘、後期ローマ帝国における財政規律と法の変容、

西洋中世研究、査読有、5号、2013、69-85

〔学会発表〕(計 19 件)

小澤 実、海域世界としてのヨーロッパ、

バルト・スカンディナヴィア研究会、2016年1月23日、早稲田大学

河原 温、中世後期フランドルの都市史研究の動向、ヨーロッパ中世史研究会、2015年12月19日、青山学院大学

堀越 宏一、中世フランスの都市家屋、西洋中世史研究会春季研究会、2015年5月15日、富山大学

鈴木 道也、中世の百科全書とフラン

ス王権、日仏歴史学会研究大会、2015年3月28日、駒澤大学

MINAGAWA Taku, Capuchin Marco d'Aviano, Emperor Leopold and his imperial politics, Committee Medieval and early modern religious Histories, 2014年10月30日、Trento

OTSUKI Yasuhiro, Civil donations and Christian philanthropy in the later Roman Empire, World congress for Middle East Studies, 2014年8月22日、中東工科大学

藪本 将典、アルピジョワ十字軍武勳詩における名誉、法制史学会・東京部会例会、

2014年7月12日

小澤 実、国家・論争・知識人 - 17世紀デンマーク王国とネーデルランド共和国、日本西洋史学会大会、2014年6月1日

河原 温、15世紀ブルゴーニュ王国における政治文化と都市、西欧中世史研究会、2014年5月30日、御茶ノ水大学

北野 かほる、イギリス中世の裁判 - とくに刑事を中心に - 、近世法制史研究会、2014年3月28日、東京大学

渡辺 節夫、中世独・仏関係史のなかの王権と皇帝権、西洋史研究会大会、2013年11月10日、立教大学

河原 温、15世紀後半ブルゴーニュ宮廷における政治文化と都市、九州西洋史学会、2013年11月3日

〔図書〕(計 12 件)

河原 温他、ブルゴーニュ国家の形成と変容、九州大学出版会、2016、369

三佐川 亮宏、ドイツ - その起源と前史、創文社、2016、336

甚野 尚志他、ヨーロッパ文化の再生と革新、知泉書館、2016、389

小澤 実他編、北西ユーラシアの歴史空間、北海道大学出版会、2016、336

甚野 尚志、皆川卓他、ヨーロッパの歴史、放送大学教育振興会、2015、262

堀越宏一、河原温、図説・中世ヨーロッパ庶民の暮らし、河出書房新社、2015、127

河原 温他編、ヨーロッパ中近世の兄弟会、東京大学出版会、2014、544

甚野 尚志他編、中近世ヨーロッパの宗教と政治、ミネルヴァ書房、2014、413

渡辺 節夫編、近代国家の形成とエスニシ

ティ、勁草書房、2014、301

〔産業財産権〕  
出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

渡辺 節夫 (WATANABE, Setsuo)  
青山学院大学・文学部・名誉教授  
研究者番号：20566880

### (2) 研究分担者

河原 温 (KAWAHARA, Atsusi)  
首都大学・都市教養学部・教授  
研究者番号：70186120

加藤 玄 (KATO, Makoto)  
日本女子大学・文学部・准教授  
研究者番号：00431883

三佐川 亮宏 (MISAGAWA, Akihiro)  
東海大学・文学部・教授  
研究者番号：20239213

堀越 宏一 (HORIKOSI, Kouichi)  
早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授  
研究者番号：20255194

土浪 博 (TONAMI, Hiroshi)  
関東学院大学・法学部・准教授  
研究者番号：20277924

鈴木 道也 (SUZUKI, Michiya)  
東洋大学・文学部・教授  
研究者番号：50292636

藪本 将典 (YABUMOTO, Masanori)  
慶応義塾大学・法学部・准教授  
研究者番号：20566880

薩摩 秀登(SATSUMA,Hideto)  
明治大学・経営学部・教授  
研究者番号：70211274

大月 康弘(OHTSUKI,Yasuhiro)  
一橋大学大学院・経済学研究科・教授  
研究者番号：70223873

北野 かほる(KITANO,Kahoru)  
駒澤大学・法学部・教授  
研究者番号：90153105

甚野 尚志(JINNO,Takasi)  
早稲田大学・文学学術院・教授  
研究者番号：90162825

皆川 卓(MINAGAWA,Taku)  
山梨大学・総合研究部・准教授  
研究者番号：90456492

小澤 実(OZAWA,Minoru)  
立教大学・文学部・准教授  
研究者番号：90467259

(3)連携研究者

( )

研究者番号：